

令和8年度丹後「地域学校協働活動」推進研修会

令和8年7月3日（金）、地域学校協働活動及び学校運営協議会関係者や社会教育関係者、教職員等を対象に、令和8年度丹後「地域学校協働活動」推進研修会を開催しました。

今年度は岡山県教育庁生涯学習課 地域学校協働活動アドバイザー 安田 隆人 様に講演とワークショップをお世話になり、地域と学校が連携・協働を実現しながら地域学校協働活動を充実させるために必要な視点を学ぶ研修を行いました。

講演では、実践事例をもとに、地域と学校が、どのように取組の目的や意義を共有し、ともに創り上げたのかという過程と、そこに関わる大人の在り方についての大切な視点を学ぶ機会となりました。またワークショップでは、自由な発想と対話により学校資源と地域資源を掛け合わせる活動を通じて、社会に開かれた教育課程を地域と学校でともに創ろうとする熟議に発展しました。参加者の感想からも、未来の社会を創っていく子どもたちのために、「対話」を重ねることで丹後の地域学校協働活動を充実させようとする意欲が伝わってきました。

この研修会を機に、地域と学校が願いや目的を共有しながら、子どもたちが心豊かで健やかに自ら育つ環境づくりが管内にさらに広がっていくことを期待します。

《感想》

- ・学校と地域が単に協力するだけでなく、「子どもの育ち」という共通の目標に向かって双方向で連携することの重要性を改めて実感した。
- ・大人が真剣になれば子どもが変わることを聞いて感動した。
- ・対話できる関係づくりをしていくことが、地域学校協働活動を推進させる原動力になると思った。

